



ロータリーは機会の扉を開く

〒450-6002

名古屋市中村区名駅 1-1-4 名古屋マリオットアソシアホテル 2203

Tel / 052-583-0010 Fax / 052-583-0009 E-mail / serc@h3.dion.ne.jp

会長 成瀬和男 幹事 吉田哲朗 クラブ情報委員長 織田敏之

第 2494 回例会

2021 年 5 月 12 日(水)

外部卓話：市邨学園 名古屋経済大学
経済学部教授 大黒光一さん

出席 会員 92 名 出席 58 名
出席計算人数 86 名 出席率 67.44%
前々回修正出席率 93.33% (4 月 14 日分)
ゲスト 大黒光一さん (市邨学園 名古屋経済大学 経済学部教授)
許玲玉さん (米山記念奨学生)

会長あいさつ (成瀬和男さん)

皆さん、こんにちは。

前回の 4 月 21 日から 3 週間ぶりの再会です。またコロナ禍で今日から愛知県は「緊急事態宣言」が 5 月 31 日まで決定されました。他クラブでは休会に入っているところもありますが、わがクラブは、このホテルがコロナ対策等に十分備えているものとして開催に至りました。ほかにも本日は諮問委員会、理事会もありますのでなおさらということです。よって Zoom も採り入れさせて頂き、今後例会に出席できない皆さまもできるだけ例会に参加できるような体制をつくりました。皆さまご自身健康を第一に優先して頂き、ロータリーアンとして参加していただければと思います。



この休みの間にゴールデンウエークといった休みがありました。皆さまはいかがお過ごしでしたか。私は、久しぶりの連休でしたので、北アルプス燕岳から常念岳、蝶が岳、上高地の雪山の縦走の計画をしてました。4 月 30 日は、50 年来のつきあいであった友達のお別れでした。(彼は名古屋にあった山の専門店、駅前アルプスの店長で幅広い客層をつかみ、金山アルプス、今池アルプスといった店が閉店していく中で最後まで残ったのも彼がいたからだでした。その彼も 3 年間の病棟生活に終止符を打ちました。) お通やの後、車を飛ばし中房温泉の登山口へ、ゴールデンウエーク初日でも駐車場は空いてました。久しぶりの山歩きで合戦小屋まで 4 時間程かかりました。夏はここでスイカを食べて登るところですが今回は暖かい飲み物で体を温めて最後の登小屋の見えるあたりから谷から吹き上げて来る風が強くなってきて、次第に歩けないほど強い暴風雪となり、途中立ち止まりながら、四つん這いになりながら前に進むのですが、強風で動けなくなるのも何度かありました。このまま強風にあおられ続ければ遭難に至る。この時 35 年前、南山大学の学生が鹿島槍で戻ってこないとのことで私どものところへ救助要請があり、捜索に行ったときを思い出しました。遠見尾根から雪の降りしきる悪天の中を生きていくと必死に思い捜索したところ白岳の下の稜線上にびりびりに破けたテントを発見、この時の風はテントを引き裂くほどの強い風でした。日も暮れ、私のクラブの後輩の南山の学生に食料と燃料を持ってくるようにサポートさせたが一向に来ない、これ以上の捜索は二次遭難になるとのことであきらめて救助本部に寄ると、サポート隊は天候が悪く途中で引き返していたとのことでした。その後、遭難した 2 名の学生は翌年 7 月と 8 月に雪渓の中から発見されました。ちなみにこの時の遭難対策本部長は名南 RC の三浦和人弁護士でした。その後何とか小屋に入ることができました。翌日はすぐ下山して温泉につかり今度は上高地から蝶が岳へむかいましたが上高地で吹雪に会い、バスターミ

ナルの横の山岳ガイド協会の研修所でとまらせていただきました。翌日はのんびり、上高地散策で氷壁の宿『徳澤園』までのんびりと散策してまいりました。

幹事報告 (吉田哲朗さん)

- ①次回例会 (5 月 19 日) はクラブフォーラムとなります。担当は青少年奉仕委員会となります。尚、例会につきましてはオンライン (Zoom ミーティング) とオンサイトにて例会を開催致しておりますので、オンライン例会にてご出席を推奨いたします。
②次週例会終了後 13 時 40 分から第 2 回次年度準備委員会が 17 階桐の間で開催致しますので、関係各位は出席をお願い致します。
- 本日例会終了後、13 時 40 分から 5 月度理事会を 17 階楠にて開催致しますので関係各位は出席をお願い致します。



ニコボックス

【ニコボックス】

秋山博文	井川誠	池田直子	伊藤秀雄	猪俣直路
江場寛一	大西弘高	尾本和弘	片山主水	川津真正
佐久間貞介	白木良彦	坪内孝暁	外山素子	中島美恵
中野文勝	中村規脩	中村好江	中山理	成瀬和男
南原智子	浜崎明	平井善明	平松育夫	古澤和也
堀美利	松原邦夫	宮崎薫	三輪貴生	村瀬裕昭
山口直彦	山原武	山本浩実		
本日分 34,000 円				累計 1,121,000 円

米山記念奨学生 スピーチ



許玲玉さん

入会式

◆新会員入会 歓迎挨拶 白木良彦さん
森竜太さん、伊藤歌奈子さんのご入会を会員一同 心より歓迎いたします。
かねてより RI 国際ロータリーでは、将来的にロータリークラブが持続的に発展するためには若い会員と、特に女性の会員の増強を求めています。まさに、本日入会されたお二人は国際ロータリーが期待するドンピシャの会員です。先日開催された地区協議会での沓名



ガバナーエレクトの話によると、東南ロータリーが所属する愛知県2760地区の女性会員の割合は現在6%であり、これを8%までに高めたい意思表示をされています。今回、お二人が入会されたことにより、現在会員数は92名となり、その内、女性会員は12名と会員数の13%を占めており、2760地区の2倍以上の女性比率です。

現在、世界のロータリアンに占める女性の割合は20%です。名古屋東南ロータリーは世界標準に向けて着実に前進している、まさに多様性のあるクラブと言えます。

どうかお二人には一日も早くクラブの雰囲気にも馴染んでいただき、ロータリーの目指すところの「親睦と奉仕」を实践されることを祈念します。

なお、森さんのメンターは浜崎さん、伊藤さんのメンターは兼松さんをお願いします。お二人の配属委員会は「親睦委員会」となります。どうか、皆さん、森さん、伊藤さんを宜しく願って歓迎の挨拶と致します。



森竜太さん



伊藤歌奈子さん

外部卓話

◆市邨学園 名古屋経済大学 経済学部教授 大黒光一さん

皆様、こんにちは。ただいま紹介賜りました大黒と申します。先ほど、本当に日本語が流ちょうなキョウさんの話もありましたが、皆さんは普段から中国人の留学生の方に接点がある。一方で、皆さんの会社経営という観点で言うと、人材の採用というのが非常に重要なポイントになってくるかと思えます。そんな中で、「実は留学生の実態というのはどうなんだ」という知られていない部分もあるかと思えますので、今日は、ここにあります「意外と知られていない外国人留学生の現状と就職の実態」ということでお話をさせていただきます。何かのヒントになれば幸いというふうに考えております。

ちょっと簡単に自己紹介だけさせていただきますが、一応、名古屋経済大学の教員ということで仕事をしておるのですが、実はアカデミックな世界で生きてきた人間ではなくて、もともとは、最近また社名が戻りましたが、株式会社リクルートという会社に入って、まさに企業の採用の支援を30年近くやってまいりました。実は今、大学というのは「実務家教員」というのを非常に必要としているという時代に入ってきておまして、たまたまそういうタイミングに重なったということもあって、大学に移ってちょうど5年目になります。5年前に名古屋経済大学のほうにお誘いをいただいて、



大学でキャリアの授業を実際にやっているという人間でございます。名古屋経済大学以外にも、例えば、非常勤で名工大、この後ご紹介しますが、名工大も留学生がけっこういます。留学生も含めた名工大のキャリアの教育、その授業の非常勤講師もやっておりますし、あとは名城大学でも授業をやらせていただいております。そんな経歴の中で、今日はこの「留学生採用のポイント」についてお話をしたいと思います。

まず最初に皆さんにお伝えしたいのは、「なんで留学生の話をお話するんだ」という話ですが、この先、実は日本人——皆さんも当然、もうご認識あるかと思いますが——日本人の18歳人口はこの先まだ20年近く減り続けていきます。という中で、日本人の採用だけにこだわっていると、対象がどんどん減ってしまうという時代を迎えます。その中で、実は大学——大学は今、全国に800大学ぐらいあるんですが——数は減っておりません。その裏側にあるのが、外国人留学生がたくさん入ってきている——という中で、増加し続ける外国人留学生の実態ということをお話をしたいというふうに思っております。あと、まさにキョウさんの話があった後ですので、「留学生は日本語大丈夫なのか」と思われている方は、この中には少ないと思うんですが、やっぱり一般的には、いろんな企業さんの方にお話をお伺いしますと、「留学生、日本語しゃべれるのか」という話が非常に出てまいります。そんな中で、日本語能力とか学習意欲の高さについて、留学生の特徴という形でお話をしたいというふうに思っています。最後の2つですね、外国人留学生採用上のポイント。ここは簡単にご紹介をしたいと思います。まさにこれは法律、入国管理法で規定されておりますので、この中で採用できる・できないというのは差がありますよ。最後になりますが、外国人留学生の就職の状況について。特に、文系についてはなかなか知られていない部分があります。そこを、私が今おります名古屋経済大学の事例をご紹介してお話を締めさせていただきますというふうに思っております。

私はリクルートにいた時代からよくお話をしておったのですが、実は企業さん側が新しい採用手法に踏み切るときには大抵特長があります。何かというと、大手企業が先に新しい採用手法を導入するというものでありまして、中堅・中小さんがその後遅れてその採用をやっていく——という流れの中で、これ、実態としてはどういことが考えられるかという話ですが、要は、大手企業が先に先行利益という形で採用をしてしまいますので、後から参入してもなかなか採用は難しい。特に留学生の場合は、先輩がいるかどうか、先にそういう採用がされているかどうか、ここが非常に重要なポイントになりますので、改めてですが、この実態については皆さんのほうでご理解いただきたいと思ひまして、こちらのデータをご紹介させていただきます。実際には、「日本の大学・大学院を卒業する外国人学生の採用する予定」というふうにご覧している企業は、なんと4社に1社しかない、という状況でございます。特に見ていただきたいのは、5,000人以上の会社については66.2%が採用すると。ただし、例えば300人未満の企業さんになると12%ですので、10社に1社しか今のところは考えてないと。この状態になると、大手がどんどん採用を進めていって、最後、中堅・中小さんが留学生に目を向けようかといったときには、なかなかの参入障壁ができてしまっていて採用しにくくなるという状況が考えられます。

一方で、外国人留学生——これは本学の学生にもよく言われるのですが、名古屋経済大学へ私が転職をしてからは「日本人と全く同じ就職活動しろ」というふうに留学生には指導をしておるんですけども——多くの大学では、留学生の就職指導というのがなかなかされていないというのが現状です。実際には、外国人の場合は、母国の就職活動というのは、大抵の場合は卒業してから就職活動になりますので、日本で今の在学中に就職活動するという慣習自体に慣れていないという状況でございます。これは、株式会社ディスコ キャリタスリサーチのデータになりますが、この2020年の3月に卒業した学生の中の内定率ですが、7月時点でいうと、国内の学生は84%が内定をもらっていると。一方で、留学生に関しては40%しか内定をもらっていないということで、留学生の採用については企業さん側に頼るところが非常に大きいんですが、採用が遅れている、就職活動も遅れているという現状でございます。

そんな中で、冒頭で申し上げましたが、こちら、「18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」、皆さんのお手元にもデータあるかと思ひます。実際、私も久しぶりにデータをいろいろ調べてみたんですが、なんと18歳人口、これはもう既に生まれている子どもたちですので、18歳人口の推移ということで、日本人学生はこれから先、2021年～2031年の10年間で既に約15万人減少するということが結果として出ております。この15万人減少するという話ですが、今、大学への進学率というのは約50%になります。50%

になりますので、大学を卒業する学生がなんと7.5万人ぐらゐ減少していくということになります。これは、皆さんからすると採用ターゲットが減少するという話ですが、私が今おります大学というところからすると、1学年が大体500人ぐらゐの大学はなんと200校ぐらゐつづれる、こういうことが言われております。そんな中で、大卒マーケットの今後ということになります、18歳人口の減少から、日本人学生は微減傾向がこれからずっと続いていきます。ただ、進学率の上昇が見込まれれば変わっていきますけれども、基本的には18歳人口、全体的に減っていくというのは、これは確定している。

一方で、皆さんのお手元の資料としてはこちらのほうをお配りさせていただいておりますが、こちらご覧いただければ分かりますけれども、女子比率と外国人留学生比率は上昇がどんどん続いていっております。ということで、先ほどキョウさんから話をさせていただきましても、まさに女子の採用、これはこういう場で申し上げるべきではないかもしれませんが、私も企業の方とお会いしていると、いまだに「男性が欲しい」と——というふうに、大学のキャリアセンターに要望される企業さんというのがやっぱり多ございます。そんな中で言うと、今後日本人の男子学生は減少していくという現状を考えると、女子、あとは外国人留学生に目を向けていかないと、労働者マーケット自体が減少していくということが言われております。

では「留学生、どれぐらゐ増えてるの？」という話ですが——これは私も転職するまでこの現状はつかんでなかったのですが——2000年からの20年間で、日本の大学院・大学・短大で学ぶ外国人留学生の人数というのは、なんと2.5倍になっているという現状がこちらのデータからも見て取れるかと思えます。

では、皆さんが経済活動というか、企業運営されているこの愛知県でどれぐらゐ影響があるかという話ですが、実は愛知県、県自身が留学生をかなり一生懸命迎え入れようという形で動いております。それがこちらのデータ、「愛知県内の大学に在籍する外国人留学生数の推移」になります。平成30年には、なんと6,719人の外国人留学生が、愛知県内の大学に在籍をしていたと。令和元年がマックスでして、7,000人。令和2年につきましては、やはり母国に帰って再入国ができないとか、後で紹介しますが、名古屋大学あたりは院生をそのまま——例えば中国の大学を卒業した学生を院で迎え入れるといったときに入国ができないということもありまして、令和2年については若干減少しております。実際に私ども名古屋経済大学でも、母国に帰っていまだに戻ってこれないという学生がおりますし、そのおかげで留年するという学生もたくさん出ております。そんな状況の中で、この愛知県につきましては、6,000人ぐらゐの留学生。これは愛知県の大学生のうち占める割合でいうと、愛知県は大体3万人ぐらゐです。3万人ぐらゐの大学生の中で、なんと6,000人が外国人留学生になっているという現状については、ぜひご認識いただけるというのかなというふうに考えております。

ご興味がありましたら、愛知県留学生交流推進協議会というホームページがございます。その中に、こちら、ちょっと細かいデータでしたので皆さんにはお配りしていませんが、各大学に在籍する留学生の人数が全部公表されております。この公表されている中で、「多いのはどこなんだ？」という話ですが、基本的には外国人の大学院生・大学生の採用に関しては、これが基本になります。「正規生」×「私費」留学生。キョウさんは——ちょっと私、先ほど質問をさせていただいておりませんでしたが——国費ですか？私費で来られているんですか。なるほど。要は、国費の学生というのは基本的には国に技術を持って帰る学生ですので、基本、皆さんの採用ターゲットになりうるとすると、この「正規生」×「私費」留学生。まさにキョウさんが私費ということでしたので、採用対象になってくるわけです。

留学生の在籍が100名を超える愛知県内の大学は13あります。名古屋大学は1,871人。ただし、国立大学は大半が国費です。ですので、私費という話になると、私も転職するまで全然知らなかったのですが、私がおります名古屋経済大学が、愛知県内では私費・文系の留学生が一番多い大学になっておりまして、現状を見ますとなんと410名の学生がおります。ただ、それ以外にも、名工大345人。345人のうちの大半半分ぐらゐが私費で、学部生で来ています。ですので、実は名工大の学生も比較的にこの愛知県内もしくは岐阜・三重のメーカーさんの、特に——留学生の就職先というのを後で紹介しますが——実は規模にあまりこだわっておりません。どちらかというと、中小企業に入って何でもやらせてもらえるという会社を選ぶ傾向があります。名工大の学生は、意外と日本人は大手に行くんですが、留学生はなんと中小企業に行く、こういう傾向がございます。それ以外でいうと、私費でいうと南山、愛大、愛知文教大、

星城大と続きますが、ここについては、実は年々在籍数が増えてきているという状況がございます。

その留学生、なんでここまでお勧めしているかというお話ですが、実はこういう現状があります。これは愛知県外国人留学生就職支援検討委員会のほうで取ったデータになりますが、日本で就職をしたといっている留学生はなんと68.3%。ただ、そのうちの26.1%しか日本では就職ができていない。まさにこのデータを見ていただく——つい先日、株式会社リクルートワークス研究所から求人倍率調査が発表されましたが、今年の大卒の求人倍率は1.5倍です。1倍を超えているわけですね。それが、留学生に限っては、こういう状況ですから、1倍を切っている——という中で、皆さんからすると買い手市場と捉えられるんじゃないかというふうに考えています。

彼らの、就職で困っている部分ですが、実は情報が不足しています。あとは機会の損失。機会の損失というのは2つあって、中にはやはり日本語能力が不十分で企業さん側ではなかなか活用できないと。あとは——日本ぐらゐなんです。ね。「企業研究をちゃんとしなさい」とか、「業界研究をちゃんとしなさい」とか、「就活のルールをちゃんと覚えなさい」という教育をしているのは日本ぐらゐなんですけども、それを必要ないと考えてしまって、就職活動で失敗するというケースが言われております。そんな中で、これは国を挙げて言われておるのですが、「日本再興戦略の改訂」ということで、今、各大学にこういったことが指導として入っております。「外国人留学生・海外学生の本邦企業への就職支援強化」、あとは「外国人留学生の日本国内での就職率を現状の3割から5割に向上させたい」と。それ以外にも、日本語教育とかインターンシップ、要は授業の中で日本語に関する部分、あと日本の慣習に関する部分、これもちゃんと教育をしなさいということが言われておりまして、ここに力を入れている大学は比較的日本国内で就職をしていくということが言われております。

そんな中、留学生の魅力って何だろうということ——実は私も転職してすぐ留学生が400人もいるというふうに聞いて、当時の学長に「英語なんかできないからね」ということで、当然のことながら「外国語で授業をやることは不可能です」という話をしたんです。一番ほっとしたことは、いまだに思い出されますが、「名古屋経済大学では一切英語の授業はやらない」、「留学生に関しては全員ちゃんと日本語で授業を受けさせる」ということで、安心したことを覚えております。こちら、「留学生のキャリア」にもありますが、実は多くの私費留学生がこういう経路をたどってきております。まずは日本語学校で大体1年から3年、日本国内で日本語だけ勉強します。その後大学に入ってきます。大学で4年間。本学でいうと、日本語でずっと授業を受けますので日本語が分からない学生は卒業ができません、また、卒論も日本語で書かれていますので、分からない場合は卒業ができないという形になってきます。なおかつ、もう日本で4、5年生活をしていますので、当然のことながら日本の生活様式とかルールというのは体得をしていると。大学によりますけれども、本学でいうと、学生が入ってきて最初のオリエンテーションでは、ごみの分別の仕方とか、全部指導します。その上で授業に入っていくという形になっております。

留学生の一番の魅力は、私はここだというふうに考えています。一つは、母国語と日本語がしゃべれるバイリンガルである、多言語人材であると。中には、今年、ヒライ社長のところでもお世話になったんですが、英語がTOEIC800点ぐらゐで、日本語もペラペラで、母国語のベトナム語をしゃべれるというトリリンガルもたくさんおります。その中でいうと、多言語人材であったり、多国籍人材——母国の文化とか宗教感覚を既に持っているということで、多様な考え方を持っている学生だということ、ここが一番の魅力ではないかというふうに考えております。

これはディスコのキャリアスリサーチのデータになりますが、語学の学習親和性、実はそういった意味でいうと母国で英語を学んでいるケースがありますので、日本語の勉強に関しても非常に親和性が高いです。あと、当然異文化のところに飛び込んできているわけですので、異文化親和性。日本に一人でやってくるというところを考えると、熱意とかバイタリティとか、あと、まじめに勉強しようという気持ちは日本人学生よりもかなり高いです。対人社交性、これは国籍にもよりますが、私が知っている限りで言うと、ネパール出身の学生については非常に明るい。悪く言えば、楽観的すぎるといことになりませんが、対人社交性の明るさというのは非常にありますし、日本に来る目的が、やっぱりお金を稼ぎたいというのが一番の理由になっていますので、労働意欲とか勤労意欲も非常に高いという、こういった特徴があるというのが留学生だということに考えております。それ以外にも、やはり日本語能力とかコミュニケーション能力、あと適応力も非常に高いです。ちょっと乱暴な言

い方ですけども、大学にいと、最近では日本人学生の場合は適応障害を起こしたり——という形で不登校になるケースがけっこう多いんですが、留学生の場合はほとんどいません。そこら辺が適応能力の高さではないかなというふうに考えています。

日本で働きたいということで来ている私費の学生は大変親日家です。日本での勤続意欲というのも、このデータを見ていただければ分かりますが、非常に高い。企業さんからすると、「4、5年で国に帰っちゃうんじゃないの？」というふうに思われているかと思いますが、私費で来ている文系の学生は、大抵40歳、50歳まで日本で働いて仕送りをしたいと、で、親の健康状態がちょっと悪くなったら国に帰りたいと、こういうケースが非常に多いというふうに言われております。

先ほど、就労ビザが関係するというお話をしましたが、こちらのほうはまたぜひ一度ご覧いただきたいと思いますが、「業種別の許可人数」、こういった業種で採用がされております。見ていただければ分かりますが、非常に多岐にわたっているという状況でございます。仕事の内容はという話ですが、「職務内容別の許可人数」、こちらもぜひ、皆さんの会社のほうで採用できるかどうかというところの参考にしていただければというふうに考えさせていただきます。一番皆さんにご紹介したかったのは、こちらになります。「就職先企業等の従業員数別の許可人数」。実は大手ばかりで許可が出ているわけではないという状況でございます。1人から大体100人未満の企業さんで、実は約半数の許可が出ているという状況でございますので、留学生のマーケットに関してはどちらかというと日本人のように大手志向ではなくて、実は中堅・中小企業志向がいまだに強いということが言えるかと思っております。ただ、留学生採用には留意点がありまして、「大学で学んだことを活かせる仕事」にしか従事できないという条件があります。ですので、会員の方の中には弁護士さんと行政書士さんがいらっしゃるかと思っておりますので、そういった方々にご相談していただくと一番よろしいのかなというふうに考えています。

そんな中で、留学生採用の留意点ということですが、改めてですが、就労ビザの許可基準、所轄の入管でこの基準が全然違います。実際には、名古屋入管で通らなかった学生が、福岡の入管で申請をしたら通ってしまうと、こういうケースも出てきておりますので、改めてですが、いろんな基準がある、地域差もあるということをご皆さんにお伝えできればというふうに考えております。最近ではやはり言葉——例えば最近、技能実習生の日本語レベルが非常に高くなってきています。そんな中で、N3を持っている学生をマネジメントするのにN2を持っていないというのは、それは許可できないというケースで、この言葉のレベルというのも大変求められるような状況になってきております。ここについては、これは大学側が非常にこれから頑張らなきゃいけない部分になりますけれども、例としてご紹介をさせていただきます。

最後に大学のケースということで、特に私立の文系の留学生に絞って、私どもの名古屋経済大学のケースをご紹介して終わりにしたいと思います。「本学の概要、在籍留学生の出身国・地域」は、こんな状況です。これはぜひご覧いただきたいんですが、大抵の大学では、留学生は中国人の人数が一番多いというふうに言われておりますが、本学の特徴でいいますと、実はベトナム人留学生の人数が一番多いという状況になっております。ここはちょっと裏にわけがありまして、そこはちょっと公表できないのですが……ご興味がありましたら、またお声がけください。

ただ一方で——名古屋経済大学の宣伝じゃないんですけども——実はここ数年、10年近く、名古屋経済大学、いろんなところで調べていただければ分かりますが、「BF」というふうにずっと言われてきました。これは「ボーダーフリー」ということで、受験者全員が入学できるということで、「偏差値の基準がない」という大学だったんです。ところが——ちょっと要因分析ができていないんですけども——ここ数年、受験者がこちら、「本学の日本人受験者数の推移」にありますように大幅に増えてきている中で、まず日本人に関して「BF」Fランクという基準からやっとなげ出したという状況になっています。一方で、留学生も——留学生はこちら、「本学の留学生の受験者数の推移」になりますが——留学生のほうも非常に受験者が増えている関係で、実は今、合格の基準をどんどん上げていっているというのが現状です。多分2、3年先には、受験時にN1を持ってないと入学ができないという基準まで上げていこうかという話を今検討している状況であります。今年の1年生はもうN2レベルを入学時に持ってないと入学ができない、そういうレベルになっております。先ほど申し上げました、日本人学生も、これだけ受験者が——ほんとにこれ、要因分析が全くできていないんですけども——受験者がこれだけの勢いで増えている中で、やっとなげ出しが復活して、大量に落とすことができるような状況になってきた

ということが言われております。

そんな中で、実は「留学生の教育・支援」ということで、本学の場合は、日本人と全く同じ支援をしております。一番の特徴としては、一番下にありますが、早い段階から日本語を「読む、書く、聴く、話す」、これを全部授業の中に取り入れて、日本語能力を高めていくという教育をしているというのが現状です。こちら、私もちょっと乱暴かなとは思いますが、転職した後にはカリキュラムをこういうふうに改定したんですが。なんと、日本人の学生と同様に、留学生も2年生以降、インターンシップに行かないと——しかも5日間以上です——卒業ができないという必修単位になっているのが、本学の特徴になります。ただ、例えば2年生のときにインターンシップに行くと、自分の日本語能力がまだ足りないとか、自分の日本のビジネスマナーが分かってない度合というのを実感して、それから非常に頑張るって、自分で勉強していくという学生も出てきているという状況になります。実はけっこう留学生からクレームがあるんですが、なんと1年次に必修科目のキャリア科目があって、2年次にインターンシップが必修科目になっていて、この2つを単位取得しないと留学生といえども卒業できないというカリキュラムになっているというのが現状でございます。その結果として、実は留学生の就職率が、日本人の就職率より高まっております。なんと4年連続日本で就職したい学生は100%という状況になっております。留学生でインターンシップ参加人数も、ここにありますが、2016年は3名だったのが、2019年120名、多分今年に関しては300名近くの留学生がインターンシップに参加するという状況になっております。

そんな中ですが、「留学生、日本で就職するんだっけ？」という疑問もあるかと思っております。本学でいうと、なんと4年間の累計で、約80%の在学生在が日本での就職を希望しているという状況です。で、ぜひお声がけいただけるとありがたいなというふうに思っております。こちらには、皆さんから見ると特殊な業界とか特殊な会社しか留学生を採用できていないんじゃないかというふうに思われている方もいらっしゃるかと思っております。本学の実際の就職先をご紹介させていただきます。細かい部分は省きますが、ぜひご覧いただければと思います。ただし、このコロナになってから、小売りとか飲食サービスのビザの許可が下りないというケースがちょっと目立ってきております。ですので、ここについては少しお気を付けいただきたいのですが、それ以外にも、国別に就職の特徴があります。ベトナムの卒業生というのは、本当に多岐にわたっているんですが、特に最近でいうとメーカーさんへの就職がやっぱり増えてきていると。中国人留学生に関しましては、こちらも多岐にわたってはいるんですが、やっぱり中国と取引をしているとか、中国に拠点があるとか、そういう会社さんが非常に多い。ネパールの卒業生は、どちらかというとサービス業とか外食、こういったところに就職している学生が多い、こういうような特徴があります。

ということで、皆さんの、これからの社員・従業員の確保というところでいうと、間違いなく日本人は減っていくのがしばらく続くわけですので、改めてですが、冒頭に戻ってお話をすると、女子学生、留学生、これをどういうふうに皆さんが確保して、活用していくのか、ここが非常にこれからの企業経営のキモになってくるかと思っております。今日の話が、少しでもご参考になったのであればありがたいと思います。駆け足になりましたが、私からのお話は以上になります。どうぞご清聴ありがとうございました。



第10回(4月)理事会議事録

開催日 2021年4月7日(水)
名古屋マリオットアソシアホテル 16階 楓
参加者：成瀬・藁谷・下郷・吉田・兼松・平松・中島・秋山・
山口(直)・山森・中山・平井・藤川・江場・花井・西尾・
鬼頭・水野・村瀬 19名
欠席者 杉浦・古澤 2名

1. 開会挨拶：成瀬会長
2. 審議事項
 - ①地区ロータリー財団「ポリオプラス基金寄付」の目標一人当たり30ドルの支出について 成瀬会長→活動予備費から支出
 - ②入会申し込みの件 2名(森さん、伊藤さん)
→本理事会にて承認後、5月12日入会式(森さんは来週から例会に参加)
 - ③新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言に準じた対策が可能となる「まん延防止等重点措置」が名古屋市に適用された場合の今後の例会について。
→名古屋市が適用された日以降のコンセンサス(P62 5条参照)
→通常例会については会長一任でいいとおもう。
→夜間例会等はできれば1週間前までには決定したい。
3. 協議事項
 - ①「530運動」青空例会(5/26の例会)の件
→藤川社会奉仕委員長より次回詳細に報告
 - ②IDM夜間例会(6/23の例会)の件
→中山親睦活動委員長より52階スカイラウンジ「ジーニス」貸し切り予定
4. 報告事項
 - ①ロータリー青年交換プログラムについて 花井青少年奉仕委員長
→2022年6月30日まで一時停止
 - ②下期合同委員会中止の件
→山口第1合同委員会委員長より説明有
 - ③今年度RYLAセミナー(3/27・28開催済み)の件
内容について 江場地区PYLA委員より説明
→参加者の発熱により、一瞬騒然としたもののリモート等を使い無事終了。
 - ④事務局使用のパソコン購入済みの件→吉田幹事
→玉木年度に寄付いただいた8年使用のパソコンが不調につき、新規購入。
 - ⑤春の家族会会計報告→中山親睦活動委員長
5. その他 なし

次回 第11回5月理事会
5月12日13:40~15:00
名古屋マリオットアソシアホテル

第11回(5月度)理事会議題

開催日 2021年5月12日(水) 13:40~
名古屋マリオットアソシアホテル 17階 楠

- 議題
- 1 開会挨拶 成瀬会長
 - 2 審議事項
 - ①「530運動」青空例会(5月26日例会)の件(P.2~P.5)
藤川社会奉仕委員長
 - ②IDM夜間例会(6月23日例会)の件(資料P6~P7)
中山親睦活動委員長
 - 3 協議事項
案件無
 - 4 報告事項
 - ①新会員歓迎例会(4月14日)決算報告について(資料P8~P9)
吉田幹事
 - ②次年度のための地区研修・協議会オンライン出席の件
村瀬(裕)次年度幹事
 - 5 その他

次回 第12回(6月度)最終理事会
2021年6月2日(水)13:40~15:00
名古屋マリオットアソシアホテル 未定

例会のご案内

■次回の行事 5月19日(水)
クラブフォーラム
青少年奉仕委員会、親睦活動委員会
コスモス 12:30~

5月26日(水)
「530運動」青空例会
社会奉仕委員会、会場運営委員会
大高緑地公園 11:00~

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。